

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	三重県名張市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「新・理想郷プラン」に基づく文化遺産活用プラン		【計画の改善時期】 平成30年度
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
名張市総合計画「新・理想郷プラン」第1次基本計画（平成28年度～平成30年度）では、基本目標4・第3節「市民文化の創造」文化振興の基本方針として ○ 文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。 ○ 名張らしさのあふれる魅力ある市民文化を育み、豊かな心と文化の息づくまちを目指します。 ○ 多様な文化資源を活用して、郷土に誇りと愛着を感じられるふるさとづくりを創造します。 この方針に基づき、下記の事業を実施します。 1. 名張市民の身近な文化遺産として、名張の秋祭りを活性化します。 2. 貴重な文化遺産である、本町区の地車を修理し、活用して次世代に引き継ぎます。			
6 実施体制			
実施計画にかかる全体計画の調整や事業内容の確認は、名張市教育委員会文化生涯学習室が行い、事業計画の内容に沿った成果を得よう、適時指導を行うものとします。 事業については、本町秋の例大祭保存継承実行委員会が実施します。			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 46,565 千円	平成30年度申請額： 9,221 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
当事業の実施により、市民の地域の文化遺産への関心や意識が向上し、しいては地域力の向上につながります。子どもたちを巻き込むことによって、生きる力の醸成にもつながります。それとともに、文化遺産や地域資源を市民共有の財産として、積極的に保存と継承が行われます。また、名張市の誇れる文化遺産の、市内外への発信も行われます。今回は、名張の秋祭りの由来、歴史を明らかにし、歴史的な事象を記録します。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	本町区でも募金を行い、自主財源とします。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
歴史文化基本構想については、この事業等の進展をもって、策定に向かって検討を進めてまいります。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	名張市教育委員会文化生涯学習室		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	名張市の物産や観光地、歴史や文化で、誇れるまたは紹介したいものがあると思う市民の割合			関連事業:	① ② ③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 54 % ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 60 %					
設定根拠 1 :	市民意識調査において、26年の現状値55%において毎年1%の平均伸び率を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
%	%	%	%	%	%	%
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	市民協働によるまちづくりが行われていると感じる市民の割合			関連事業:	① ② ③	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 44 % ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 50 %					
設定根拠 2 :	市民意識調査において、26年の現状値46%において毎年0.8%の平均伸び率を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
%	%	%	%	%	%	%
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	名張の秋祭りにおける本町区の祭礼参加者			関連事業:	① ② ③	
目標値 3 :	【現状値】 平成 29 年度 84 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 90 人					
設定根拠 3 :	町内の高齢化、少子化が進んでいますが、現状を維持しかつ若干数の増加を目指します。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	人

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	本町秋の例大祭保存継承事業	実施団体：	本町秋の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度		
事業概要：	本町地区の例大祭における祭礼状況や本町地区地車修理状況など、後世に伝承していくために必要な記録をDVD製作により行います。記録作成にあたっては、委員会を開催し、名張の秋祭りの歴史的事象も含めた記録作成を実施します。				
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	配布各施設におけるDVD 上映等、利用回数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 35 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
回	回	回	回	回	回
事業②：	本町秋の例大祭保存継承事業	実施団体：	本町秋の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度		
事業概要：	秋祭りでの重要な要素である地車曳航において、地車上で子どもたちによる囃子方演奏を行います。近年は少子化ですが、積極的に子どもたちを確保し、囃子方としての経験を得よう事業を行います。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	地車囃子方保存会会員				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 10 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 12 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人
事業③：	本町秋の例大祭保存継承事業	実施団体：	本町秋の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度		
事業概要：	地車は経年劣化で傷んでおり、今後継続して安全曳行を行なう事は現状の劣化からみて難しい状況にあります。保存修理にあたっては、文化的価値の保護のため基本的に既存形式・寸法を踏襲し行うものとし、一般への普及啓発のため地車製作の伝統技術の公開も行います。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	本町地区の祭礼参加者				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 84 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 90 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人